

災害時に役立てて

市、緊急FMラジオ貸与 福祉施設や保育園に

060525-4階



貸し出された緊急告知FMラジオ

台風や地震といった緊急時に自動的に電源が入って情報を伝える「緊急告知FMラジオ」が二十

四日、倉敷市から市内の高齢者や障害者の福祉施設、保育園、幼稚園など

四百二十四施設に一台ずつ貸し出された。

ラジオは、FMくらしが全国で初めて開発。緊急時にFM局やケーブルテレビ局からの起動信号を受信して電源が入り、明かりが付いて避難指示や災害情報が大音量で流れる。台風による高潮など大きな被害

を受けたことから、倉敷市が三百万円で購入した。

市役所であった貸与式には、施設の代表者六人が出席。伊東香織収入役が「昨年の教訓を生かし、緊急時に活用してほしい」と、一人一人にラジオを手渡した。倉敷公立保育園長の佐々木和子会長は「自動で災害情報などが得られるのは心強い」と謝辞を述べた。市は今後、新しく結成される自主防災組織へのラジオ配布も検討している。定価八千四百円。FMくらしき、倉敷ケーブルテレビ、玉島テレビで購入できる。(則武由)